

第二回印東太郎賞授与式

受賞記念講演

日時： 10月6日(土) 16時30分～18時

場所： 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学三田キャンパス東館6階

G-SEC Lab

受賞者： 星野崇宏 氏

「印東太郎賞」設立の経緯

印東太郎(いんどう たろう)慶應義塾大学名誉教授・カリフォルニア大学名誉教授
1923年生まれ、1945年慶應義塾大学文学部卒業後、同大助手となり、1973年
まで同大教授。その後、カリフォルニア大学アーヴァイン校教授となり、2007
年米国で死去。

没後、遺言に基づき慶應義塾大学文学部心理学研究室へ寄付がなされ、その寄
付金を基金として印東太郎賞が制定されました。この賞は印東太郎博士と関係
の深かった日本色彩学会、日本基礎心理学会、日本行動計量学会、日本認知心
理学会からの推薦を受けて、選考委員会が受賞者を決定するものです。

受賞者：星野崇宏 氏 (名古屋大学経済学研究科准教授、日本行動計量学会会員)

星野崇宏氏は計量心理学、統計科学とそのマーケティングサイエンス、行動経
済学への応用を行っておられる気鋭の研究者です。方法論の研究としては因子
分析モデルや項目反応理論、選択バイアス、離散選択モデルの研究を中心に活
躍しておられ、計量心理学においては最も評価の高い学術誌である

Psychometrika 誌に corresponding author として4本論文を採択させ、また
Psychometric Society の国際大会において招待講演を行うなど、欧米の研究
者からも注目されています。加えて優れたアイデアと協調性から認知心理学、
言語脳科学、視覚心理学、教育評価、パーソナリティ心理学など様々な共同研
究の中心的存在として活躍しておられ、成果は Brain, Cognition, Biological
Psychology, Journal of Cognitive Neuroscience、心理学研究、教育心理学
研究など国内外の学術誌に掲載されております。